令和８年（2026 年）10 月４日
教育委員会事務局　学校施設管理課

１０月４日（日）開催　第４回意見交換会（桜井谷小・第二中）議事録について

開催日時：令和８年（2026 年）１０月４日（日）１４時～１５時
開催場所：第二中学校　多目的室（豊中市宮山町２丁目１－１）

意見の概要と市の返答

No.	意見の概要	市の返答
1	運動場や体育館の使用が制限される間の体育や運動会等はどうしますか。	工事期間中は運動場所に一定の制約が生じますが、児童生徒の教育活動への影響をできる限り小さくできるよう、運動場の一部や体育館を活用しながら体育授業を行えるよう努めます。なお、運動会等の大規模行事については、近隣学校や市の体育施設の活用も含めて検討していきます。
2	２校連続整備の場合、中学校校舎を小学生が使う場合の仕様変更について、いつどのように検討し実際の変更をされますか。	実際に校舎を確認しながら、低学年向け補助便座の設置など必要な対応について検討しています。今後も学校の意見を伺いながら、小学生が安心して学校生活を送れるよう、利用開始までに必要な環境整備を進めます。
3	新校舎の建設位置が変わることによる周辺への影響についてどのように対策されますか。設計前に意見を言う機会は設けられますか。	圧迫感や日影、プライバシーなど周辺環境への影響については、今後の設計の中で検討していきます。周辺住民の皆様への説明やご意見を伺う機会を設けながら、教育環境と周辺環境の両方に配慮した計画となるよう進めます。

No.	意見の概要	市の返答
4	単独建て替え案で桜井谷小学校を建て替える場合に、仮設校舎のプレハブについて、適切な学習環境をどのように担保しますか。	仮設校舎を建設する場合は、長期間使用する施設として整備します。断熱性や空調設備、防音性などに配慮し、工事期間中においても児童生徒ができるだけ安心して学校生活を送れる環境づくりに努めます。
5	２校連続整備を採用する場合は、第二中学校の改築工事の遅延が桜井谷小学校の改築工事開始の遅延に直結しますが、どのような対策を考えていますか。	第二中学校の事業の遅れが桜井谷小学校の事業に影響を及ぼさないよう、設計・工事・解体の進め方を工夫しながら、全体スケジュールへの影響をできる限り小さくできるよう取り組みます。また、児童生徒が工事の影響を受ける期間をできるだけ短くできるよう努めます。
6	工事期間の安全対策としての誘導員配置について、PTA や地域ボランティアもしくは市の予算で人員配置するのかどちらになりますか。	誘導員の配置場所や配置方法については今後検討していきますが、基本的には市の予算により配置する方向で考えています。児童生徒の安全を第一に対策を進めます。
7	工事期間中の児童生徒に心理的ケア等のソフト面の予算措置を行う予定はありますか。	長期間にわたる工事が児童生徒に与える影響については、学校とも連携しながら、必要な支援のあり方について検討していきます。
8	意見交換会について、子育て世代等も参加しやすいようオンラインと実地での開催を併用した開催やアーカイブ動画配信をしていただきたいです。	子育て世代をはじめ、より多くの方にご参加いただけるよう、ハイブリッド形式での開催や開催時間帯の工夫など、参加しやすい意見交換会の実施方法について検討します。なお、会議内容の周知方法についても、事務負担等を踏まえながら検討します。
9	工事期間中の災害時の避難所についてどのように考えていますか。	工事中においても新旧いずれかの体育館で避難所の確保を行います。

No.	意見の概要	市の返答
１０	なぜ第二中学校は現校舎位置と異なる場所に新校舎を建てるのでしょうか。	現在の校舎位置で建て替えを行う場合は、工事期間中も学校運営を継続する必要があるため、一度に校舎を建て替えることができず、仮設校舎への移転や校舎の解体・建設を段階的に行うローリング整備が必要となるため、工事期間が長くなります。新校舎を別の位置に建設することで工期の短縮が見込まれ、児童生徒の学校生活や教育活動への影響をできる限り小さくできると考えています。
１１	第二中学校の新校舎の建物の高さ・日照・景観等を日影図等の資料で具体的に示してほしいです。	周辺住宅への圧迫感や日照、景観等への影響をできる限り軽減できるよう、今後の設計の中で軽減できるような工夫をしてまいります。設計が具体化した段階では、必要に応じて日影図等も用いながら、周辺環境への影響についてご説明し、周辺の住環境に配慮した計画となるよう検討してまいります。
１２	工事中や完成後の通学路の安全をどう確保しますか。	工事車両の進入ルートの設定や誘導員の配置などにより、通学路の安全確保に努めます。また、通学時間帯を避けた車両運行や徐行運転などの安全対策を徹底し、児童生徒が安心して学校生活を送れる環境づくりを進めます。
１３	２校連続整備案が採用された場合、小学校の一部グラウンドを使用することが考えられます。その際には、小学生が歩くルートと工事車両のルートが重なりますか。	工事車両の進入ルートについては今後詳細を検討していきますが、児童の安全を最優先に、できる限り児童の動線と工事車両の動線が交差しない計画となるよう検討します。また、学校生活への影響をできる限り小さくできるよう安全対策を進めます。

No.	意見の概要	市の返答
１４	２校連続整備で進めていくという結論ですか。	教育委員会としては、児童生徒への教育環境の影響をできる限り小さくしながら学校施設の更新を進める観点から、２校連続整備案を基本として検討を進めています。引き続き、意見交換会等でいただいたご意見も参考にしながら整理を進めていきます。
１５	赤坂下池を埋め立てれば、運動場等のスペースが確保できるのではないですか。	いただいたご意見については関係部局へ共有します。なお、実現可能性については関係法令や周辺環境への影響なども踏まえながら検討していく必要があると考えています。
１６	学校敷地は元々池の埋立地であると思いますが、地盤や耐震性は問題ないですか。	地質調査を実施したうえで、必要な地盤対策を行い、安全性に十分配慮した施設整備を進めます。
１７	ガードマンの配置場所はどこですか。南門から西門付近の見通しの悪い曲がり角にも配置してほしいです。	工事内容や通学動線を踏まえながら配置場所を検討します。ご意見のあった箇所についても、児童生徒の安全確保の観点から検討していきます。
１８	本日出た質疑応答をホームページに出してほしいです。また、当日の質問であると回答が曖昧な部分が出るので、質問や意見を事前に集めてから意見交換会を実施してほしいです。	当日の質疑応答については、議事概要として整理したうえで市ホームページに掲載します。また、その場でお答えできなかった内容については、整理のうえ次回以降の意見交換会等でお示ししたいと考えています。

No.	意見の概要	市の返答
１９	小中の児童生徒が接する場面での心配があるので、動線を分けられないですか。	専用の運動スペースや遊具の設置、異なる出入口の活用など、動線を分ける工夫について検討します。また、安全面や発達段階の違いにも配慮しながら、児童生徒が安心して学校生活を送れる環境づくりについて検討していきます。